

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2021年8月15日(日)

説 教：「フェイク・ニュースが問題です」

—真理を見極める—

テキスト：2ペテロの手紙2章1～3節

### はじめに

・例 話：「心痛めること」

先日、新聞を読んでいましたら心痛む記事がありました。

6月19日午前4時20分頃、山形県東根市のサクランボ畑で、収穫直前の高級品種「サクランボ」約100キロ（時価約50万円相当）が盗まれました。栽培していた農業男性（66）が発見し、110番通報しました。

- ・農夫が丹精込めて栽培し、やっと収穫という時に、何者かによって100キロもの「サクランボ」が盗まれてしまいました。本当に心痛む事件です。盗まれた農家の男性を思うと、たいへん「心が痛みます。」それは決してあってはいけないことです。

- ・他に知らべると、収穫直前の「桃」をはじめ、「ショウガ」、「ピーマン」、「ピワ」、「ブントン」、「トマト」等の盗難が、約15年前から多発していることが分かりました。

農家の方々が大切に育ててこられた果物、作物が、収穫直前に盗まれるとは本当に「心が痛みます」ね。

- ・聖書には、神が心痛めることが書かれています。 イザヤ書

59:15 主はこれを見て、公正がないことに心を痛められた。

59:16 主は人がいないのを見て、とりなす者がいないことに唾然とされた。それで、ご自分の御腕で救いをもたらし、ご自分の義を支えとされた。

- ・この聖句は、神が地上のご自身の民をご覧になり、そこには本来あるはずの公義は見当らない状態のことです。そのことのために、神は大変心を痛められたのです。

- ・「心を痛められた」とありますが、本来それは「神の目にそれは悪であった」、「良くなかった」という意味です。神はそれを悪とされました。

- ・この聖句は、イスラエルの民の心に本来あるべき公正がないことに、神が心を痛められたということです。

- ・今の時代、とくに問題となっているのは「フェイク・ニュース」です。フェイク・ニュースとは、正しくないこと、嘘、偽りのニュースを指します。

キリストの教会にも、神が心痛められる誤ったニュースが入って来ています。ペテロの時代、そして現在に至るまでです。

- 私たちの周りにも、そのような誤まった心を痛めるニュースがあります。私たちは日々、そのようなフェイク・ニュースに囲まれ生活しています。神は不正、悪、偽善、フェイク・ニュースが多い暗い社会をご覧になり、「心を痛めて」おられます。
- では、私たちはどのように生きるべきでしょうか。 2点

### 大切なポイント

#### 1. 人間性の回復を覚えなさい

- 神が天地創造されたときを思い出してください。 **創世記 1章**  
1:31 神はご自分が造ったすべてのものを見られた。見よ、それは非常に良かった。
- 1) 神は最高のものを造られた
  - 神が造られたものは非常に良かった、とあります。それは私たち自身を見るうえで、とても大切な視点です。そこには神の喜びがあります。同時に、それは私たちの存在の価値を表しています。すなわち、私たちは本来良いものとして造られていることです。
  - 私たちが覚えなければならないことは、神は人を他の被造物とは異なり、特別に造られたことです。 **創世記 1章**  
1:27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。
  - 「神のかたち」とは何でしょうか？それは神に似るもの、神の本質を反映させる存在でしょう。すなわち、人間は神と交わる者であるものです。神との親しい交わりの中で生きる者としての本性が与えられているというものです。
  - 神の愛、神の真実、神のきよさ、神の正しさを分かち合う存在として、私たちは造られました。神の目には高価で尊い存在です。

#### 2) 人間は人間性を失った

- しかしながら、人間は欲に引かれ、おびき寄せられ、誘惑され、神を見失ってしまいました。その本性を棄損してしまいました。皆さん！聖書の一番はじめの創世記に、そのことが記されています。それは聖書全体が何を扱い、どこに光を当てて、神がどこに導かれようとしているのかを明らかにしています。
- ところで神が地上をご覧になったとき、もはやそこには良いと言えるものは見当たりませんでした。イザヤは言いました。 **イザヤ 59章**

59:16 主は人がいないのを見て、とりなす者がいないことに唾然とされた。

これは地上に人がいなかったというわけではありません（多くの民が右往左往しながら存在していた）。神がご自分に似せて造られたはずの人間が、見当たらなかったということです。

- 神は、人と人格的な交わりができるように、人をご自分に似せてお造りくださいました。しかし、その人間はどこにいるのか、と尋ねておられます。罪を犯してしまったアダムとイブを思い出してください。神はどのように対応されたのでしょうか。

#### 創世記

3:8 そよ風の吹くころ、彼らは、神である【主】が園を歩き回られる音を聞いた。それで人とその妻は、神である【主】の御顔を避けて、園の木の間にも身を隠した。

3:9 神である【主】は、人に呼びかけ、彼に言われた。「あなたはどこにいるのか。」

- 「あなたはどこにいるのか。」と尋ねられました。これが神の問われた最初の質問です。探し求めてくださる神です。人間は本来いるべき場所を失ってしまいました。その結果、全人類が同じように道を見失ってしまいました。

#### {例 話}

- 毎日、私たちが新聞、テレビ、ラジオ、You Tube で見聞きすることは、心痛める事件ばかりです。他者に迷惑をかけ損害を与えながら、あまりに身勝手な言い分を言う人がいます。
- 他者の大切な人生を踏みにじり、命を奪っていく事件が毎日のように起きています。そういった凶悪犯罪だけでなく、実はこの同じ課題が私たちの内にも存在しているのです。
- 犯罪の多くは、他者の存在を見失うことから起こります。自分の欲求、自己保身の思いが、他者の存在の重さ、人格の重さよりも優先してしまいます。それは私たちにも起こり得ることではないでしょうか。
- 安易に語られる言葉の軽さを覚えるならば、反省させられます。もし私たちは、その人の存在の重さ、その人の人格を重んじる尊さを認識していたならば、そのような言い方はしなかったはずで、もっと慎重に、もっと配慮して、語るべきであったのです。
- 職場において、利潤追求の名のもとに、どれだけの人が人として扱われず置かれていることでしょうか。また組織のために、そこに存在する人格や価値は見失われています。人間の存在価値は、それほど軽いものでしょうか？
- いいえ、決してそうではありません。しかし私たち人間は、いつも自分の事柄

を優先させて生きようとします。人を利用する能力にはたけても、人に仕えることには忍耐力が欠けるものです。本来の人間性に欠けるのは、実は、他でもない私自身であるということに気づくならば幸いです。

- 私たちの内には、失われた人間性というものがあります。それが神によって回復されていくことが大切です。神は回復を成し遂げてくださるというお方です。

### 3) 人間性の回復

#### イザヤ書 59 章

59:16 主は人がいないのを見て、とりなす者がいないことに唾然とされた。

それで、ご自分の御腕で救いをもたらし、ご自分の義を支えとされた。

- 神は私たちの人間性を回復させるために、「ご自分の御腕で救いをもたらし、ご自分の義を支えとされた。」のです。神がご自分の御腕を動かされたとは、イエス・キリストを十字架にかけ、すべての罪を負わせられたことです。神は私たちがまことの人間性を回復するために、御子イエスを犠牲にされ、救いの道を開いてくださいました。
- このようにして、イエス・キリストによって人間性を回復させられた人が、キリスト者です。ですから創造神から目を離さずに、神を見上げることです。もし神から目を離すことがあるならば、神はどれほど心を痛められことでしょうか。人知を超えた神の愛を忘れて、神の本来の創造から離れて生きるならば、神はどれほど心を痛められることでしょうか。
- これは、私たちが覚えなければならぬ大切なことです。ペテロは、さらに大切なことを述べました。それはユダヤ人クリスチャンへの警告でした。

## 2. ペテロの警告

- 2:1 しかし、御民の中には偽預言者も出ました。同じように、あなたがたの中にも偽教師が現れます。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込むようになります。自分たちを買い取ってくださった主さえも否定し、自分たちの身に速やかな滅びを招くのです。
- 2:2 また、多くの者が彼らの放縦に倣い、彼らのせいで真理の道が悪く言われることになります。
- 2:3 彼らは貪欲で、うまくこしらえた話でああなたがたを食べ物にします。彼らに対するさばきは昔から怠りなく行われていて、彼らの滅びが遅くなることはありません。

## 1) 偽預言者と偽教師

- 私たちは平安のうちに、信仰生活を過ごす恵みを覚えるものです。しかし教会の外に目を向けるならば、聖書が記している困難があることを知らされます。  
先日、NHK,TV で「宗教2世」という番組があり、再三リピートされて放映されました。つまりそれほど、大きな社会問題となっている異端問題です。それは「エホバの証人」というキリスト教を名乗るグループですが、彼らの教えは聖書から外れたものです。
- 皆さん。異端と呼ばれるグループやその運動は、キリスト教会が誕生した当初からありました。大概、彼らは熱心な人たちでした。その熱心さがかえって仇となり、バランスを失わせてしまいます。聖書のある部分を強調したり、ある部分(都合の悪い)を省いたりして、そこに新たなグループを形成してゆきました。
- エホバの証人と呼ばれるグループは、19世紀半ば、アメリカで生まれたチャールズ・ラッセル (Charles Russell) が18歳のときに始めた運動がもとになっています。彼ははじめ長老派教会 (Presbyterian church) で教育を受けましたが、次第にその固苦しい雰囲気になじめなくなり、比較的自由さを持っていた組合教会 (Congregational church) に移りました。そこでも満足を得られず、やがてそこも出て自分流のグループを形成していきました。
- 彼は熱心な人でした。教会の中に、礼拝の中に、物足りなさを感じていたということは、何らかの霊的問題が彼の所属していた教会になかったとは言いきれないでしょう。彼は独自に聖書研究会を開き、熱心に聖書を学び始めました。
- しかし彼の聖書の読みはバランスに欠いたものでした。彼はその学びに学べば学ぶほど、その中心にはっきりと示されているお方を見失っていきました。聖書は次のように述べています。

### 箴言 19章

19:2 たましいに知識がないことは良くない。急ぎ足の者は罪に陥る。

- いつの時代も、異端はそのようにして起こりました。今日も異端と呼ばれる教えがあり、新興宗教が次々と興り、人々の心を惑わしています。イザヤは述べました。イザヤ書  
59:15 主はこれを見て、公正がないことに心を痛められた。
- ペテロはこの書簡を記した当時、教会の中にはさまざまな異端が持ち込まれていました。ペテロは、その対処のためにこの書簡を書きました。ある聖書学者

は、この手紙の中心は2章にあり、当時の異端に対するペテロの弁明にあると見ています。

- ・ペテロがユダヤ人クリスチャンたちに、キリストにある生ける望みを述べてきたのは、異端がキリストを否定し、キリストの約束を疑わせるように教えていたからでした。

2:2 また、多くの者が彼らの放縦に倣い、彼らのせいで真理の道が悪く言われることとなります。

2:3 彼らは貪欲で、うまくこしらえた話であなたがたを食い物にします。彼らに対するさばきは昔から怠りなく行われていて、彼らの滅びが遅くなることはありません。

## 2) 異 端

- ・ここで異端について考えてみましょう。

異端とは、本来「派閥」とか「グループ」という意味で、それ自体に特別な意味はありません。しかし、それは教会という交わりの中で、ある特別な意図によって形成される時、「党派」とか「分裂」という意味になります。

第1コリント人への手紙11章には、次のように書かれています。

11:19 実際、あなたがたの間で本当の信者が明らかにされるためには、分派が生じるのもやむを得ません。

- ・本物のクリスチャンが明らかにされる意味で、「分派」として記されているのです。ガラテヤ人への手紙5章20節では、御霊に導かれる人とは対比的に、「肉の思いで行動する人々」という意味で用いられています。
- ・ですから、異端というものは異なった教えではありますが、教会の中でひそかに形成されるグループ、分裂、分派を指しているのです。

- ・また偽教師の存在にも、ペテロはふれています。ここで言う偽教師(偽預言者)は、そのグループのまとめ役、リーダーとなる人を指しています。

2:2 また、多くの者が彼らの放縦に倣い、彼らのせいで真理の道が悪く言われることとなります。

ここに「多くの者が彼らの放縦に倣い」とありますように、多数の人々に影響を与え、人々を滅びに向かわせている人たちです。それは主のお体である教会に傷を与え、教会を汚し、真理がそしりを受けることになるのです。

- ・ここで大切なことをまとめてみましょう。

ここまで、異端はどのようにして起こるのかということを書いてきました。

それは聖書のある部分をことさらに強調し、逆にある部分を見落とすことに

よって起こるということです。聖書の教理の健全さは、バランスのとれた聖書の読みに基づきます。

- ・聖書は私たちの信仰と生活の規範ですから、もしその解釈にバランスが欠けるならば、私たちの歩みも歪んでゆくこととなります。基準がズレるならば危ういこととなります。ペテロはこう述べました。
- 2:1 自分たちを買い取ってくださった主さえも否定し、自分たちの身に速やかな滅びを招くのです。

### 3) 偽りと真理

- ・私たちが今の時代、目を覚まし、みことばの真理に堅く立ちつづけることが大切です。私たちは偽り、不正、フェイク・ニュースが多く飛び交う社会で生きるものです。私たちが神のお心を痛めることなく、回復した人間性を持ちつづける歩みをするには、偽りを見抜き、真理を見極めることにあります。
- ・では、どうすれば良いでしょうか？
  - ⇒ 自己吟味すること
  - ① みことばの光に照らされて、自己吟味すること。
 

私の聖書理解はバランスを欠いてはいないだろうか。私の信仰生活は自己流になり始めてはいないだろうか。自己吟味することです。
  - ② 主を否定するような歩みをしていないか、自己吟味すること。
 

私たちは立ち止まる大切さを覚える必要があります。週のはじめに、兄弟姉妹とともに神の前に出て、救いを成就してくださったお方の前で、正しい歩みを送っているかどうかです。みことばの光に照らされて自己吟味することです。

## ま と め

説 教：「フェイク・ニュースが問題です」

—真理を見極める—

- ・主は今朝も、私たちに大切なことをお語りくださいました。感謝！！
- 今の時代もペテロがいた時代と変わらず、異端、偽教師が存在し、フェイク・ニュースが飛び交っています。サタンはほえたける獅子のように、キリスト者を食いつくそうとチャンスを狙っています。
- ・そこで大切な生き方は、次の2点です。
  1. みことばの光に照らされて自己吟味すること
  2. 主を否定する歩みをしていないか自己吟味する

\* God bless you !